
無闇

無闇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

無闇

【Nコード】

N23610

【作者名】

無闇

【あらすじ】

ああああああああああああ

心で理解して口で虚ろを吐く

僕達はもう全てわかってしまった

知っていないこともある だけど生きる価値を 意味を

見出せないんだ

ナポレオンがすごいんだって織田信長がすごいんだって村上春樹
がすごいんだってニーチェがすごいんだってバツ八がすごいんだっ
てカミュがすごいんだってカフカがすごいんだって

見出せないんだって

夏だ

本当のことと言いながら嘘だと知っている

ゲームだと知っているからゲームだと私は述べただけだ

殴られた頬を抑えつつ怒りばかりが抑え込まれている

抑圧だ 抑鬱だ

もう鈴虫だって騒がしいのに僕達いまだ鳴くことも出来ないんだ
って

他人事なんだ 全てが

もうすぐ冬が来てこたつでミカンを食べれるよ

暖房で乾燥して 水虫の足を眺めて

とめどない程に仲良くなったあの人と

本当は何も理解しあっていなかった

虚ろだった全て嘘だと思った

だって本当が裏返って途端に信が不信に変わったって

これも他人事なんだって嘘なんだって

僕達って何を信じればいいのですか？ 僕達はそろそろ死んだっていいのではないのですか？

でも生きてる

電車が通過するかつて人を吹き飛ばし粉々にした記憶を忘れ去るうとするかのように

スピード

逮捕されたあの敗北者へと花を手向けて

健全だと厚かましい顔をしてほくほくするあの饅頭顔を蹴散らそう何かを無闇に信じている浅ましいヤツラを全員 地獄へとたたき落ちることを願おう

全てもう春になれば毛虫と同じだ 汚 濁 音 糞 糟 ごみくずだから

凍死

春が来ない

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2361o/>

無闇

2010年10月10日20時55分発行